



※当資料は 8 月 6 日(金)大阪機械記者クラブ、自動車産業記者クラブにて資料配布しております。

2010 年 8 月 6 日

報道関係各位

モリタ、CAFS 装置を株式会社吉谷機械製作所へOEM供給するお知らせ
少量の水でも消火能力を発揮する、画期的な CAFS 装置 (Compressed Air Foam System: 圧縮空気泡消火装置) の OEM 供給。

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証 1 部)の 100%子会社である株式会社モリタ(本社:兵庫県三田市・東京、代表取締役社長:中島正博)は、株式会社吉谷機械製作所(本社:鳥取市、代表取締役吉谷典雄)と「CAFS 装置」の OEM 供給に関して提携することをお知らせいたします。

モリタは、2007 年に独自開発した「CAFS 装置」を搭載した新しい姿の消防車「Miracle CAFS Car」を全国へ販売を開始し、納入台数は3年間で既に300台を超えており、その性能は非常に高い評価を得ております。

国内の消防車市場はピーク時から4割減るなど内需縮小に直面する中、特に新規開発製品の提案が課題です。このような市場環境の中、モリタは画期的な消火性能を有する新しい消火システムである「CAFS 装置」を開発し、新製品の展開に力を入れてまいりました。一方、吉谷機械製作所においては海外の CAFS 装置を輸入し、自社の消防車に組み込んで販売されております。

今回、CAFS の将来性に注目している吉谷機械製作所では、機能面や操作性に優れたモリタ製「CAFS 装置」を組み込んだ消防車を販売することが、今後の販売増に繋がると判断され、モリタとの OEM 供給に関する提携となりました。

モリタは今後、縮小傾向にある国内の消防車市場において、これからの主力機種と位置づける CAFS 搭載消防車を、1社単独での販売よりも、吉谷機械製作所へ「CAFS 装置」を OEM 供給することにより、市場のさらなる拡大を目指してまいります。

■「CAFS 装置」の特徴

- ・ 泡の生成により広い表面積を作り出し、少量の水で効率よく消火することができるため、水資源を有効に活用します。
- ・ 少量の水での消火が可能なので、ビルやマンション等の多層階建ての建物火災で問題となっている水損被害の防止に効果を発揮します。
- ・ 車両には水タンクが積載されているので、高速道路など水利がない場所での消火も行えます。
- ・ ホースの中はほとんどが空気なので、ホースは軽く、消火活動の負荷を軽減します。
- ・ 操作はひとつの操作盤による、シンプル操作が可能です。
- ・ 放射は、水・泡・混合液の切替ができます。
- ・ 最大吐出量 3,600L/分の大量放射が可能です。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野 TEL.03-5777-5088

E-mail:Hiroko.Urano@morita119.com